



【年間計画】年間を通して、次に示すような単元を学習していきます。

月	第1学年	月	第2学年	月	第3学年
4	ふしぎ 桜蝶 言葉の単位	4	いろいろな立場や考えを踏まえる 虹の足	4	春に 立ってくる春 なぜ物語が必要なのか
5	自分の脳を知っていますか 意見文を書く	5	枕草子 徒然草 課題を設定して伝える	5	私 硬筆
6	オツベルと象 内容を整理して説明する	6	硬筆 日本の花火の楽しみ・水の山 富士山	6	熟字訓 和語・漢語・外来語 メディア・リテラシーは なぜ必要か。
7	メディアと表現 案内文を書く	7	相違点を明確にして聞く 紙の建築	7	活用のない付属語
9	森には魔法使いがいる 文の成分 広告の情報を考える	9	夏の葬列 敦盛の最期―平家物語―	9	async-同期しないこと 問いかける言葉
10	昔話と古典 竹取物語 中国の名言	10	短歌の味わい 構成を明確にして説明文を書く	10	敬語 活用のある付属語 万葉・古今・新古今和歌集
11	蜘蛛の糸 河童と蛙 ベンチ	11	タオル 孔子の言葉	11	俳句の味わい 初恋 故郷
12	日本語の文字 イメージを言葉にする	12	ガイアの知性 書き初め 討論	12	四字熟語 書き初め
1	報告文	1	確かな根拠をもとに意見文を書く 言語	1	持続可能な未来を創るために 「対話力」とは何か
2	単語の色々 熟語の構成	2	走れメロス メディアと表現	2	バースデー・ガール
3	少年の日の思い出	3	「連作ショートショート」 を書く 坊ちゃん	3	青春の歌 やわらかな想い

*表中の数字は、月を表しています。行事・時間割の切替え等で多少前後致します。

【教科における観点別評価項目】

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に

取り組む態度

「主体的に学習に取り組む態度」は、「その単元で身に付けたい力を意識して、自分の取り組み方について客観的にとらえながら粘り強く取り組んでいるかどうか」を評価します。活動の取り組み自体はもちろん、「自分の学習をどのように振り返っているか」ということも大切です。提出物等については、「提出したかどうか」が評価の対象になるわけではありませんが、提出が遅れたり提出できなかったりすると「提出物の内容」を評価できなくなってしまうこともあります。期日までに提出しましょう。

また、「知識・技能」や「思考・判断・表現」について、定期テストが評価・評定のすべてではありません。授業での目標の達成や定着が「十分である」ことが、日々の評価につながり、その積み重ねが、観点別の評価となります。まずは日々の授業で行っている学習活動を大切にしましょう。

国語において、各学年では次に示すような力をつけることを目標としています。これは、授業目標であり、生徒たちにとっての達成目標になります。

1 年

○ 知識及び技能

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

○ 思考力・判断力・表現力等

- ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。

○ 学びに向かう力、人間性等

- ・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 年

○ 知識及び技能

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

○ 思考力・判断力・表現力等

- ・論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

○ 学びに向かう力、人間性等

- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

3年

○ 知識及び技能

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

○ 思考力・判断力・表現力等

- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

○ 学びに向かう力、人間性等

- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。